

(1)事業の概要等

事業番号	B0503-2
実施計画事業	
実施計画事業以外の事業	○

令和4年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	環境保全推進事業					担当部			市民生活部		
	事業期間	昭和63年度以前	～	令和6年度以降			担当課			環境対策課		
	小牧市まちづくり推進計画(R1年～R4年)	分野別計画編	基本施策	5	展開方向	3	担当係			環境保全係		
	予算区分	一般会計	款	4	項	1	目	3	大	3	中	1
	根拠法令・個別計画	-					事業種別			一般事業		
	目的・成果 (何のために、どのような成果を期待するか)	環境保全推進事業として、小学4年生を対象に、身近な水辺へのふれあいを深め、水質浄化に対する認識を深めることを目的に実施する水生生物調査、児童クラブを対象にした自然環境学習講座、合瀬川の清流を取りもどす会の活動がある。合瀬川の清流を取りもどす会は、昭和48年5月、犬山市、小牧市、北名古屋市(当時は師勝町)扶桑町、大口町の3市2町で結成された。その目的は、渇水期は下水路の様相を呈していた合瀬川の水質を改善し、様々な生き物が生息する生態系を復活させることである。										
	対象 (何・誰を対象に)	全市民										
	内容・手段 (目的達成のためにどのような事業を実施したか)	<p><水生生物調査> 希望する小学校を対象に、身近な水辺へのふれあいを深め、水質浄化に対する認識を深めることを目的に水生生物調査を実施。</p> <p><自然環境学習講座> 希望する児童クラブを対象に身近な動植物を観察し、自然に興味を持つと同時に環境保全に対する意識を高めることを目的として実施。</p> <p><合瀬川の清流を取りもどす会> 結成当初は、下水道整備等インフラ整備を推進すること、また、冬季通水の水利権を獲得することなどが優先だったため、強力な官の立場が必要であり、各市町の首長や県議等で組織する体制でスタートを切った。その後、下水道整備や工場排水規制法令の整備等による水質改善、冬期通水の実現、そして長年にわたる各市町の環境保全の活動等を実施すると共に、水質調査、生物調査等を継続的に実施している。</p>										
受益者負担	無											

(2)事業費

		項目	単位等	H30	R1	R2	R3	R4	
直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	602	544	508	597	
		国・県支出金	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0		
		計(A)	千円	602	544	508	597		
		対前年比	%	—	△ 9	△ 6	17		
		予算額	千円	631	646	659	768	1,317	
人件費		正規職員	人	0.3	0.3	0.3	0.3		
		正規職員(平均賃金)	千円	2,246	2,246	2,246	2,246		
		その他職員	人	0	0	0	0		
		その他職員(時給×時間)	千円	0	0	0	0		
		計(B)	千円	2,246	2,246	2,246	2,246		
事業費合計(C=A+B)		千円		2,848	2,790	2,754	2,843		

(3)業績

展開方向における指標の推移			基本施策	5	展開方向		3
指標名	単位	方向性	基準値	R1	R2	R3	R4
1	汚水処理人口普及率	%	↗	82.5	82.5	83.6	83.9
2	環境保全協定締結事業所数	件	↗	26	26	26	26
3							

指標	指標ほか		単位		H30	R1	R2	R3	R4	
	成果指標	水生生物実施回数	回	目標						
				実績	5	5	0	2		
	自然観察会実施回数	回	目標							
			実績	5	5	5	3			
	活動指標	PH(通水期)		目標	6.5~8.5	6.5~8.5	6.5~8.5	6.5~8.5	6.5~8.5	
				実績	6.8~8.4	7.0~7.6	6.9~8.5	6.9~7.8		
		BOD(通水期)	mg/L	目標	3以下	3以下	3以下	3以下	3以下	
				実績	0.6~1.6	0.7~1.7	0.7~1.4	0.5未満~1.2		
	単 位 事 業 あ た り	受益者数(a)		人						
受益者あたり事業費 (=C/a)		円	-	-	-	-				

(4)事業の評価

事業 の 評 価	事業の方向性	縮 小	対象や手段の絞込み等により、事業のボリュームを縮小すべきもの					
	事業の達成状況と課題	水生生物調査については、令和3年度は光ヶ丘小、米野小の2校で、勉強会光ヶ丘小、米野小、篠岡小、大城小の4校で実施した。 自然環境学習講座は、一色、小牧原、小牧南の3児童クラブで実施をした。						
		合瀬川の清流を取りもどす会については、設立から49年経過した現在、合瀬川を取り巻く状況は大きく改善された。 このことは会が実施している調査結果にも表れており、年2回の水質調査結果における合瀬川の水質は結成当初と比較して格段に改善されている。また、年3回の生物調査においても清流に生息する鮎やカワセミを確認することができるほど合瀬川の生態系は回復している。						
	今後の実施内容	この様なことから、合瀬川の清流を取りもどす会については、会の設立目的である「水質保全」において一定の成果を得たことから、会の設立50周年を迎える令和5年5月に解散することとする。 水生生物調査、自然環境学習講座については引き続き実施していく。						
事務事業評価による額	172	千円	節	18	細節	0	細々節	2
令和3年度合瀬川の清流を取りもどす会負担金決算額 (会の解散後は負担金が0円になる)								